

関西支部シニア会活動報告

行事名	2025年度（第19回）シニア会と学生会の交流会
開催日時	2025 年 10 月 11 日（土） 14 時 30 分～18 時 30 分
場所	関西大学 千里山キャンパス 4201 教室ほか
参加人数	32 名（シニア会 8 名，学生 22 名，教員ほか 2 名）
議事次第	<p>テーマ「シニア会と学生会との討論会～機械系技術者の生き甲斐～」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 谷川雅之シニア会会長の開会挨拶2. 基調講演「哲学的技術論と設計」 齊藤了文氏3. シニア会メンバーによる自己紹介を兼ねた提言 田中正夫氏，有本享三氏，石原国彦氏4. 学生からの提言 野口君（同志社大学），石崎君（兵庫県立大学）， 仁禮君（京都工芸繊維大学）5. グループ別自由討論会と懇談会（4 グループに分かれて）6. 全体での総括 各グループの代表学生諸君から討論内容の報告7. 閉会挨拶 学生会幹事長の宅間正則氏 閉会の挨拶と全員による記念撮影
概要	<p>基調講演では齊藤氏から，法学や心理学的な観点で，学生さんが社会に出たときにどう対処するか，を述べられた。NHK で放送中の「魔改造の夜」を例題に，各社が 6 週間という短期間で与えられたお題をカタチにしてタイムを競う番組を取り上げ，設計思想や不具合の対策などの違いから各設計者やリーダーの哲学的見地からどう考えるかを解説された。</p> <p>シニア会員の自己紹介・提言では，あまり好きでなかった機械工学を論理的に続けて”生き甲斐”になった（田中氏），80 年代の不況で 14 年勤務の会社から IT 企業への転職，その後の米国での CAE ソフト企業勤務、自ら会社を興したことなどの経験談（有本氏），専門的知識を駆使して振動・騒音トラブルを解決し、顧客から感謝されるとき機械技術者としての生き甲斐を感じる（石原氏）などが述べられた。</p> <p>グループ別討論会では自由な雰囲気の中で食事を取りながら意見交換が行われた。</p> <p>学生からの提言，「①変化の時代に生き甲斐は変わったか？②若い間に経験すべきことは？③どんな能力（技術）を磨けばいい？」を中心に意見交換が行われ，シニア会員からの経験談に基づいて活発な討論が行われた。</p>



集合写真



グループ別自由討論会